

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名			所属長印
血液免疫感染症内科学				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	医局内配布物はPDFファイルにし、メールで配布を行う 印刷物は原則両面印刷を行う	12.5 12.5	両面印刷の実施率は高かった。 医局内の情報周知もメーリングリストにより行われコピー用紙使用量の削減に寄与した
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	封筒やクリアファイルの再利用 食器を各自持参品を使用 各製薬会社からの資料もペーパーレス化を依頼 医局で共用のエコバックを常備	12.5 12.5 12.5 12.5	クリアファイルの再利用率が高かったが、院外企業から配布されるクリアファイルが多く、使用しきれずに破棄することもあった。 食器も各自持参して使用しており、エコバックも共用のものを使用していた
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	選択可能な物品はグリーン商品を購入	12.5	グリーン商品の購入は継続して行われていた
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	冷凍庫の霜取りを定期的に行う 使用者がいない部屋の消灯・エアコン停止を徹底する 使用していない実験器具の電源off	7.3 7.3 7.3	冷凍庫の霜取りや実験器具の電源offなどは実施できていたがエアコンの消し忘れは時折見られた。早期に出勤する医局員や夜間作業をする医局員がいるため、消灯のタイミングが難しく退室時の消灯が徹底しきれなかった。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
集会・会議のリモート化	印刷物配布資料の削減50%	印刷物を配布して実施していた勉強会・研修会をリモートで行うことで配布資料もペーパーレス化を図る	12.5	医局内のカンファレンス、MRとの面談、研修会等はほぼすべてリモートで実施したことから配布資料を印刷することがなくペーパーレス化が進んだ。コロナ禍が落ち着いた後もリモートによる会の実施を定着させることが重要と考えられる。
次年度の課題			所属長の総括	
医局内においてはペーパーレス化が進みつつあるが、学外企業からの案内等や学会誌などが紙ベースとなっているため学外への働きかけも必要になってくる。また各会員に配布される具進会だよりも医局に1つあれば十分で印刷物の削減のために配布方法を考えよう必要がある			昨年度に引き続きCOVID-19流行に伴い集会に制限が課せられ、学内・学外業務が影響を受けたことは否めないが、逆にオンラインで3密を避ける形式で集会を実施した結果、会場設営や配布物の用意、参加者の移動といった労力が削減されて参加者の増加につながった。COVID-19感染拡大予防のために取られた措置ではあったが、環境対策といった点でもオンライン開催に意義を見出すことができた。	

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名			所属長印
呼吸器内科				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	・印刷時は、両面印刷を原則とする。 ・2アップ(2枚分を1枚にコピー)など縮小・集約しての印刷を心掛ける。 ・打ち合わせの際の資料は電子化し、印刷での配布はしない。	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。	印刷については、両面印刷や縮小、集約を心掛けた。資料の電子化については、完全にはできておらず印刷を要していたものもあり、来年度の課題としたい。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	・ごみの分別を徹底する。 ・紙コップや使い捨ての食器、カトラリーの使用を減らす。 ・ペーパータオルの使用量を減らす。	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。	ペーパータオルは1回1枚にするように掲示し、周知した。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・グリーン商品について啓蒙を行う。 ・カタログまたは見積もり先に確認を行う。	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。	相当するものがなかった。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	・パソコンはこまめに電源を消す、あるいは省電力機能の設定を行う。 ・使用していない部屋の電気は消灯する。 ・冷蔵庫の開け閉めの時間をなるべく短くする。	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。 12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する	張り紙を提示し、周知した。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
古紙(ミックスペーパー)の適切な分別	燃やすごみに入る古紙の量を減らす	・古紙の分別を徹底する。	15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林および再植林を大幅に増加させる	・燃やすごみの近くに古紙の回収ボックスを設置したが燃やすごみのなかに古紙の混入が依然みられておりさらなる周知が必要と考えられる。
試薬の管理	試薬廃棄量を減らす	・試薬の期限切れ廃棄をなくす。		実験計画にそって試薬を購入する、あるいは大量買いをやめることで、消費期限内につかいきるようにした。
次年度の課題			所属長の総括	
燃やすごみのなかに、古紙が混入するなど分別が不十分な点があり、来年度の課題としたい。				

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名	所属長印
循環器・腎臓・高血圧内科学		

共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピーによる回覧を可能な限り避ける。</li> <li>Emailを用いた文書の回覧、周知を徹底する。</li> <li>コピーを用いる場合には両面印刷、2アップを利用する。</li> </ul>	1年間で1%削減	コピーによる回覧はかなり減少していると思います。各委員会の報告など、Emailによる周知がある程度定着しつつあると思います。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの分別を徹底する。</li> <li>ごみの持ち込みの禁止する。</li> </ul>	廃棄物を1年間で1%削減	ごみの分別はそれなりにできていると思います。ごみの持ち込みはほとんどないように思います。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーン商品を購入する意義について、周知する。</li> <li>現在の状況について把握し、改善していく。</li> </ul>	100%グリーン商品購入	グリーン商品を購入することについての状況把握や、どのようなものにグリーン商品があるかの把握は十分でないかもしれません。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>消灯の徹底</li> <li>離席時にパソコンの省電力機能を設定する。</li> <li>クールビズの徹底</li> <li>2up 3downは階段を利用。</li> </ul>	1年間で電気使用量1%削減	人がいない部屋での消灯や、離席時の省電力機能などの設定は引き続き注意喚起が必要と思います。

所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)

次年度の課題	所属長の総括
グリーン商品の購入の意義を理解して実行していくことは、まだ十分ではないので周知をして、進めていく必要があります。どのようなものにグリーン商品があるのかの把握も必要と思っています。消灯の徹底などは誰もができることであり、周知して引き続き啓発していく必要があると思っています。	科内では特に環境対策に関して大きな問題はないと思いますが、左記の内容については、今後も改善していく必要があると考えます。

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名		所属長印	
消化器内科学				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	両面コピーを教室内で周知し、使用枚数の抑制を呼びかける。 PDFで閲覧可能なものは、印刷をしないように声をかける。	12.5 12.5	声掛けを行い、周知した。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	両面コピーを推奨し、廃棄される古紙の量の削減を呼びかける。 枚数が少ない場合は、金属製のホッチキスではなく、針なしホッチキスの使用を推奨していく。	12.5 12.5	声掛けを行い、周知した。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	コピー用紙がグリーン商品ではなかったため、品質を確認し、グリーン商品への切り替えを検討する。	12.5	医局で使用する古紙をグリーン商品に切り替えた。切り替え後も特段、使用感などに特段不満は聞かれず、来年度からも継続可能と考えられた。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	日勤帯は医局の電気がつけっぱなしになっていることが多いため、日勤帯であっても、最後に部屋を出る場合には電気を消すように声掛けをする。 電子カルテ端末の夜間(退勤時)の電源オフを声掛けしていく。	7.3 7.3	声掛けを行い、周知した。 消灯・モニター電源がオフされている時間が増えた。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
廃棄物の管理	古紙(ミックスペーパー)の適切な分別	ゴミの分別を徹底するように声掛けをする。	12.5	声掛けを行い、周知した。
次年度の課題			所属長の総括	
不在時、不使用時の消灯・モニター電源オフに関しては、徹底できていない部分があったため、引き続き声掛けが必要と考えられた。 その他の点も、継続して行っていくため、引き続き声掛け、周知を行っていく必要がある。			医局員の協力により環境対策が行えていたと考える。 来年度も、引き続き医局員が協力していくことを期待する。	

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名				所属長印
肝胆膵消化器病学					
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)	
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	両面印刷の励行 裏面紙再使用 回覧物を電子化する	12	両面印刷は進んできています。 また回覧物も電子化が主流になっています。	
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ごみ分別の徹底 再利用紙を分別する 外部からゴミを持ち込まない	12	ゴミ分別は徹底されていますが、 一部不適切な分別が見受けられました。 再利用紙の分別は徹底しています。	
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	職員への啓発	12	職員へ啓発していますが、今後も継続が必要です。	
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	冷暖房の温度の適正化 電気はこまめにスイッチをきる 利用できる人は階段の使用を推奨 クールビズ推奨	7	冷暖房温度は過度になりすぎないようにしています。 電気は使用されていない部屋のスイッチを切っています。 クールビズは徹底しています。	
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)	
実験室の環境への配慮	廃棄物が環境汚染をしないようにする	使用簿や受け払い簿の適正な管理を行う		継続的に適正な管理ができています。	
会議のみなおし	会議による資源やエネルギーの無駄な消費をおさえる	会議をWeb会議として、紙の無駄な消費や自宅での会議も可能にする		Web会議は明らかにふえました。	
次年度の課題			所属長の総括		
来年度はゴミの分別をもう少し徹底する必要があるようです。			今年度はコロナ感染症流行のためWeb会議が急増し、 結果的に紙の使用が減りました。 来年度の課題については、継続して取り組んでいきます。		

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名				所属長印
生体制御・麻酔科学					
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)	
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	科内で情報共有が必要な場合は紙での回覧は行わず、メールで伝達する。文献検索をする際、できるだけ印刷は控える。どうしても印刷する場合は2アップ印刷、両面印刷にする。	12 15	科内での情報共有はメール、もしくはホワイトボードへの記入で行われており、回覧はされていない。抄読会の文献検索を印刷している人はいるため、2アップ印刷などと呼び掛けていきたい。	
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミ箱の説明を分かりやすいものにして分別を徹底する。古紙に当てはまるものをイラストにして掲示し、より多くの紙類を「燃えるゴミ」ではなく古紙に分別できるようにする 休憩所に給湯器があり水・お茶の提供をされているが、多くの人は備え付けの紙コップを使用している。できるだけマイボトル使用を推奨していく。	12 15	古紙の分別は少しずつ浸透してきた。来年度はより進めていきたい。コロナの影響かマイボトルを持っている人がやや増えた印象がある。	
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	見積書にグリーン商品であるかをチェックする欄を作る。実際に見積書を作成する秘書にグリーン商品について啓もうする。グリーン商品でないものを選んでいく場合は環境活動責任者に知らせるようにする。	12 15	今年度はそういった物品を購入する機会がなかったが、購入する場合はグリーン商品を選ぶように伝えていく。	
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	麻酔科は常勤数が多いためパソコンが多く設置されている。夜間は緊急に使用する1台以外はパソコンの電源を切るようにする。 近い階はエレベーターではなく階段を使用する。 電源タップ更新時にはスイッチ付きにして不使用時の電源オフを可能にする	12 13	夜間はできるだけ不要な機械は電源をオフにするように努めた。病棟へ行く場合は近い階は階段を使用するようにした。	
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)	
実験室業務に関して		試薬の管理では受払簿の記入などを徹底し、過剰な在庫を抱えずに最小限の化学薬品を用いる。 実験排水は適切に管理し、不注意で排水して水質汚染を起さないよう注意する	12 6 14	おおむね達成できている。	
次年度の課題			所属長の総括		
ゴミの分別、とくに燃えるゴミと古紙などの資源ゴミの分別を来年度はより徹底していきたい。各科でよびかけるだけでなく大学として「極めて」分かりやすくした分別のポスターなどを作っていたらと助かります。また医学部でゴミが記名制になりましたが、この効果はどのくらいあったのでしょうか。こちらとしては負担が増えたので、大学から成果を示して下さったほうが報われます。ぜひ年度初めの集まりの時に報告をお願いします。			近い階の階段移動などは科内でも取り組んできた。他に關してもできるところから来年度も進めていきたいと思います。		

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名				所属長印
脳神経外科					
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)	
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	医局での配布は主にメールにて行う 原則両面コピーを推奨する	2030年までに天然資源の	医局での情報共有はほとんどはメールベースで行うことができた。紙面での情報共有では両面コピーを行っていた。	
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ごみの分別を徹底する	2030年までに天然資源の	ごみは医局内でまとめ、缶ビン、ペットボトル、燃えるゴミ、プラスチックに分別し廃棄した。	
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品の購入を励行する	2030年までに天然資源の	グリーン商品の購入の意識づけはできていなかった。	
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	不在になるときはエアコン、電気をこまめに消す	2030年までに天然資源の	最後に退出する方は部屋の電気を消すことが意識されており、実施できていた。	
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)	
次年度の課題			所属長の総括		
日常業務の中で環境を意識するためには、こまめな呼びかけが重要である。節電、節約、ごみ分別などをカンファレンスで呼びかけるといった働きかけを行っていきたい。			いる。会議資料のデータ化、iPadを使用した会議、診療端末の印刷設定(例えばpdf)		

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名		所属長印	
産婦人科				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	コピーによる回覧はせずメールを利用する カンファレンスやミーティングにおけるペーパーレス化	12.5 12.5	メールやオンラインでの会議・ミーティングが増えた。 ペーパーレス化はある程度行えたと考える。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミの分別	12.5	ゴミの分別を心がけることが出来た。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログや見積先に確認する	12.5	グリーン商品を選択することを心がけることが出来た。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	不在時の電源OFF 節水に気をつける 定時退社・残業の短縮化	7.3 7.3 7.3	電源OFF・節水はこまめに行うことが出来た。 定時退社・残業の短縮化は日によっては難しかった。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
次年度の課題			所属長の総括	
ペーパーレス化をさらに推進する。 定時退社・残業の短縮化を推進する。			日々の積み重ねを今後も続けて下さい	



令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名				所属長印
医学部泌尿器科学					
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)	
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減				
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上				
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%				
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減				
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)	
安全マニュアルの管理	試薬の管理	試薬使用簿・受払簿記入の徹底、試薬類を所定場所への保管の徹底。	12.4 2021年までに国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、k学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。	保管場所等の徹底はできていたが、使用簿・受け払い簿への記入漏れが多くみられた。	
	使用簿・受払簿の適正管理及び保管管理				
	廃棄物の管理	適切な廃棄を徹底及び廃棄物削減、再生利用を用い取組み廃棄物発生を削減。	12.5 2021年までに廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。	廃棄は、適切に行えたが、廃棄物削減、再生利用取組みへの努力が足りなかったように思える	
次年度の課題			所属長の総括		
今年度以上に取組みを徹底して行きたい。			廃棄に関しては、徹底して行われていたが、試薬管理、再生利用など検討したい。		

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名				所属長印
整形外科					
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)	
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	原則両面印刷を行う。	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	両側印刷を促し、廃棄物の発生を削減できた。	
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミ分別の徹底を周知する。	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	医局内でのゴミ分別を行い、廃棄物を削減できた。	
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼する。	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	グリーン購入適合品を積極的に選択して備品を購入した。	
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減		2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。	医局内での消灯、エアコンOFFに努めた。	
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)	
消灯(夜間や昼休み)の徹底	令和元年度に対し1%の削減	当番を決め、消灯、電源OFFを毎日チェックする	2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。	医局内での消灯、エアコンOFFに努めた。	
ペーパーレス会議	令和元年度に対し1%の削減	会議や打合せなどでのパソコンプロジェクターを使用する	2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。	医局会、朝の会議をオンラインで行い紙資源の削減に努めた。	
次年度の課題			所属長の総括		
廃棄物の削減量について、定量化を行いたい。			横浜市立大学附属病院整形外科学教室として節電・コピー用紙・消費電力の削減を更にすすめ、持続可能な社会の実現に貢献していきたい。		

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名	所属長印
放射線科		

共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	原則両面印刷 ペーパーレスを推進する	7	両面印刷, ペーパーレス推進は今ひとつであった.
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ごみ分別を徹底する 備品の再利用を行う	7	ゴミ分別ができた.
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	環境管理研修で職員に啓発を行う	7	職員に啓蒙活動できた.
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	こまめに電源をオフにする 定時退社を奨励する	7	室内電灯の適宜オフができた. 電子カルテの電源オフは時々できていた. 多くの医局員は定時退社ができていた.

所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
会議の見直し	時間の調整	会議は1回15分以内を目標とする	8	会議は概ね15-30分が多かったが, 時に1時間を超えることがあった.

次年度の課題	所属長の総括
ペーパーレス化, 両面印刷への取組み推進していく.	

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名		所属長印	
放射線診断学				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	teamsを利用して、連絡事項のペーパーレス化を推進する なるべく裏紙を利用する。	12 12	teamsを利用したペーパーレス化は非常に進みました。 裏紙の利用も以前と同様に今年度も行っています。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミ分別を徹底する。	12	ゴミの分別は適切に行われています。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログ又は見積先に確認を行う。	12	購入時に確認するようにしています。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	最後に帰宅する人が、空調やパソコンの電源OFFや消灯のチェックを行う。 業務効率化による残業時間の短縮	12 12	最後に帰宅する人が、空調やパソコンの電源OFFや消灯のチェックを行っています。業務効率化も積極的に進めています。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
次年度の課題			所属長の総括	
新型コロナウイルス対策も兼ねて、teamsの活用などによるリモートワーク化とペーパーレス化、業務効率化をさらに進めていくことが望まれます。			新型コロナウイルス対策を進めた影響もあり、teamsの活用などによるリモートワーク化とペーパーレス化、業務効率化が特に進んだ1年になりました。	

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名		所属長印	
眼科				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	原則両面印刷	12.5	両面印刷可能なものは施行した
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミ分別の徹底	12.5	ゴミ分別用ゴミ箱により、分別することができたと思われる
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログ又は見積先に確認を行う	12.5	医局員にお願いし、可能な限り行った
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	使用していない部屋のこまめな消灯	7.3	未使用部屋の電気が消えていることが多く、努力できた
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
		印刷物の適正化 ペーパーレス化	15.2	連絡はemailで行うことで、印刷物を減らす努力を行った
次年度の課題			所属長の総括	
これまでの取組みを継続するとともに、今後可能な限り、具体的な目標を考え、設定していく必要があると考える			医局員の努力により、微力ながらも環境対策に取り組むことができたと思われる	

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名	所属長印
歯科口腔外科矯正歯科		

共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	使用頻度の低いB5用紙を積極的に活用する 個人情報のない裏紙で優先的に印刷に使用する 片面コピーから両面コピーへの励行	12.5	両面コピーの定着率が増加し、約8割以上実施できていた。医局内でも注射箋で印刷する確率が高く、裏紙を用いることに抵抗があるため、裏紙の使用に関してはあまり増加しなかった。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	印刷間違いに気を付ける 単包装よりまとめた包装商品を選択して購入するようにする	12.5	毎回の注文は単一でなくまとめて注文するようになることができるようになった。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	値段が優先になる可能性が高いが、許される価額の範囲内に、購入前になるべくグリーン商品であることを確認し、購入するよう努める。	12.5	秘書のほうで購入前にグリーン商品であることを確認し、選択するようになってきた。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	医局内で使用している冷房の温度を通常より1~2℃上げて使用する うちわや空気攪拌機など消費エネルギーが少ないものを積極的に使用する カルテを使用しない時間帯はなるべくシャットダウンかスリープ状態にする 不在時のこまめな消灯	7.3 12.2	夏季では空調を28℃でキープすることができた。また不在時の消灯についても、科内の職員ほぼ全員が注意を払うことができるようになった。

所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)

次年度の課題	所属長の総括
今年度提示した課題は概ね達成できた。次年度では裏紙の再利用に力を入れていく。また更なる環境改善の案があれば取り組んでいく。	環境委員である私自身より始め、みなさんのモチベーションを上げるようにしていくことで多く達成できたとも思いますので、今後ともこの体制が継続できればと考えています。

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名	所属長印
組織学		

共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	・原則両面印刷 ・コピー裏用紙再使用の推進 ・2アップ(2枚分を1枚にコピー)することを推進	11.6	教室内での連絡は電子メールを利用し、会議ではプロジェクターを用いて紙での資料配布を廃止した。2アップの印刷を概ね推進できた。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミの分別の徹底(特にミックスペーパーの分別) 古紙類の再利用の徹底	11.6 12.5	資源ごみを分別し、ミックスペーパーの分別も概ねできた。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・カタログ又は見積先に確認を行い、特に事務用品をグリーン商品に切り替えていく。	11.6	納入価との兼ね合いで、グリーン商品購入への切り替えがうまくいかなかった。強い意識が足りなかった。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	・電子ファイルを送信して回覧できるようにする ・会議や打合せなどでのパソコンプロジェクターの使用 ・パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定 ・エレベーターの利用の自粛(2UP、3DOWNは階段利用) ・水の垂れ流しを防止する ・使用していない部屋、トイレや廊下のこまめな消灯、昼休み中の消灯	7.1 11.6	会議ではプロジェクターの使用し、資料は電子ファイルで共有した。電気のこまめな消灯は概ねできた。エレベーターの使用は自粛を徹底できなかった。

所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)

次年度の課題	所属長の総括
グリーン商品への切り替えがうまくいかなかったことを踏まえ、グリーン商品を意識した購入を行う。ゴミの削減や省エネへの取組みは概ねできたと思うので、できたことを継続しながら、次年度はさらに徹底させていきたい。	コロナの影響もあり、会議のオンライン化や電子ファイル利用の移行はスムーズであった。しかし、グリーン商品購入への意識は高まらなかった。次年度は事務用品を中心にグリーン商品を購入できるように努力したい。

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名		所属長印	
神経解剖学				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	原則両面印刷を行う。 裏用紙を使用しても良い場合は裏用紙を使用する。	ターゲット12.5	可能なものは両面印刷とし、コピー用紙を削減した。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ごみ分別を徹底する。	ターゲット12.4 ターゲット12.5	紙類、缶、ペットボトル、可燃ごみ、プラスチックのゴミ箱を用意し、分別できた。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入を周知し、選択可能な場合はグリーン購入を優先する。	ターゲット12.4 ターゲット12.7 ターゲット12.8	グリーン購入可能なものはグリーン購入に切り替えた。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	こまめな電源オフや省エネ設定とする。	ターゲット12.8 ターゲット13.1	不在時部屋の電気を切り、節電に努めた。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
試薬の管理	適正な管理の徹底	使用簿、受払簿の適正な管理と廃液の管理を徹底する。	ターゲット12.4	使用簿の記入方法を新しくして書き忘れ防止に努めた。
次年度の課題			所属長の総括	
<p>今年度は、具体的な目標にあげた内容は実行でき、また反した事例は確認されなかった。 来年度は今年度の内容を維持し、より良くできる部分を見つけて改善していく。</p>			<p>試薬の使用簿の記入は使用者にとってやりやすくなる方法に切り替えて記入漏れを防止することができた。また、対面の機会が減少したことから、紙ベースの資料からメールでファイルを送信するようになり、印刷枚数は必要最低限になっていると感じている。</p>	



令和2年度

部門名	環境活動責任者名
循環制御医学	

共通項目	年度目標	
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	カラーコピーの使用を原則両面印刷 2アップ(2枚分を1枚)
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	パソコン、機器のこま 実験消耗品(チューブ 適切なごみ分別の徹 ミックスペーパーの撤
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入の必要 カタログ又は見積先
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	こまめな室内電機 極度な冷暖房設定を パソコン、機器のこま 施設錠時に施設者が電

所管業務等項目	年度目標	
会議の見直し	オンラインと対面会議の使い分け	感染対策のためにオ 必要に応じて少人数 対面会議の際にソー 教室内の換気に努め
実験廃棄物の管理	適正な管理の徹底	分別の徹底 管理方法の周知 廃棄物シールの貼付 新しい教室員への適

次年度の課題

グリーン購入の推奨、周知に努める。SDGsの普及を進める。  
コロナウイルスの感染対策の影響もあり、オンライン会議や電子データでのやりとりが急速に  
る。

E 環境管理システム 環境対策取組計画書

具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評
<p>コピー制限する (コピー)</p>	<p>12.5 12.5 12.5</p>	<p>教室員それぞれに注意徹底して行うことができ りも普及しているため コピー用紙の裏面の使 ることから普及してい 徹底されている。</p>
<p>こまめなシャットダウン (プリンタなど)の再利用 徹底 徹底回収</p>	<p>7.3 12.5 12.5 12.5</p>	<p>機器、PCのこまめなシ 明だが、機器の予約使 用時間が明確化し、こ ながった。ゴミの分別 している。</p>
<p>環境意識の周知 徹底確認を行う。</p>	<p>7.2 7.2</p>	<p>グリーン購入を購入者 環境にやさしい製品が</p>
<p>消灯 やめる こまめなシャットダウン 電子機器のシャットダウンを確認</p>	<p>7.3 7.3 7.3 7.3</p>	<p>エアコンや室内灯のオ 管理の点からも施策は</p>
具体的な取組み		評
<p>オンライン会議を推奨する 対面での対面会議を実施する ソーシャルディスタンスを意識する 徹底</p>	<p>13.1 13.1 13.1 13.1</p>	<p>データベースの電子化 行い管理は行き届いて 使用簿の記載について ことができた。</p>
<p>廃棄物の指導 廃棄物管理の指導</p>	<p>6.3 6.3 6.3 6.3</p>	<p>廃棄物シール貼付の 廃棄物の管理方法につ</p>
	所属長の総括	
<p>普及した。引き続き環境に優しい形での業務を推進す</p>	SDGsを進めましょう。	

所属長印

評価(振り返り)

意喚起をし、カラーコピーの制限はきた。また、電子データでのやりと印刷の機会そのものが減少した。費用は、用紙の補充に手間がかからないが、ミックスペーパーの回収は

シャットダウンは具体的な成果は不明を作成し管理したことで他者の使まめな機器のシャットダウンにつま年始めの声掛けにより徹底され

に呼びかけた。カタログ上でよりあればそちらを購入している。

フ、消灯は徹底されている。危機は徹底されている。

評価(振り返り)

と試薬の所持品の確認をしっかりとっている。  
周知し試薬管理の徹底を進める

徹底ができた。  
ついて周知に努め、普及できた。

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名				所属長印
分子生物学教室					
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)	
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	2アップ・4アップでの印刷を呼びかける 必要部数を確認し印刷部数を減らすよう呼びかける	12.5	印刷部数が多くなる場合には、4アップ以上の両面印刷を奨励した。実際に、教室内ゼミの際には、教室員全員が印刷部数の削減に努めた。	
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミ分別を徹底する 再利用可能なものは再利用する ミックスペーパーの回収の徹底	12.5	ゴミの分別はこれまで通り徹底されていた。再利用とミックスペーパーの回収については、概ね意識して実施できていたと思う。	
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	部署内でのグリーン購入の呼びかけを行う 選択可能なものに関してはグリーン購入を実施する	12.5	グリーン購入の呼びかけは不十分であったので、次年度の課題とする。	
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	使用していない部屋・トイレの消灯をこまめに行う エレベーター利用の自粛(2UP、3Downは階段利用) 使用していないPCの電源を切る	7.3 12.2	呼びかけの徹底はできていなかったが、教室員が自発的に電気の消灯・PCの節電に努めていた。	
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)	
試薬管理	試薬の適正な管理の徹底	試薬使用簿・受払簿への記入の徹底を周知する	12.4、12.5	新規に加わった学生には、試薬使用簿・受払簿の記入を徹底するよう周知した。以前から在籍していたメンバーには、特段の周知はしなかったが、これまで通り記入は徹底されていた。	
廃液管理	廃液管理の徹底	廃液管理簿への記入の徹底を周知する 適正な廃液処理の方法を部署内で共有する	6.3	試薬管理と同様に、新規の学生には、試薬使用簿・受払簿の記入を徹底するよう周知した。	
次年度の課題			所属長の総括		
再利用・ミックスペーパーの回収の呼びかけ、およびグリーン購入の呼びかけを徹底する。また、試薬・廃液管理については、引き続き徹底していく。			試薬管理、廃液管理について規定に則り、良く管理されている。今後はSDGsの目標も踏まえて、再利用やグリーン購入の呼びかけも積極的に行う。		

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名	所属長印
薬理学		

共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	できるだけ紙の印刷をせずに、電子情報でやり取りする。	12	できるだけ紙の印刷をせずに、電子情報でやり取りした。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	不必要な物品は買わず、また、資源ゴミの再利用を促進する。	12	不必要な物品は買わず、また、資源ゴミの再利用を促進した。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	できるだけ、グリーン商品を購入する。	12	できるだけ、グリーン商品を購入した。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	人のいない部屋の電気を消す。	7	人のいない部屋の電気を消した。

所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)

次年度の課題	所属長の総括

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名	所属長印
RI研究センター		

共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	原則両面印刷にする。 できるだけ2アップ印刷にする。	12.5	両面印刷できる印刷物に関してはほぼ徹底できた。また2あるいは4アップ印刷も積極的に行った。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ごみの分別を徹底する。	12.5	分別用のごみ箱をそれぞれ用意し、分別を行った。資源ごみの分別も行っている
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	必ずカタログで確認する。 見積書の仕様欄等にグリーン購入適合品であることを記入依頼する。	12.5	カタログを確認し、対象商品がないもの以外はグリーン商品を購入した。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	実験室内が不在時は消灯する。 夜間の実験後は館内の消灯を徹底する。	7.3 12.2	実験中以外の部屋は常時消灯し、夜間も最後の実験者が廊下も含めて消灯するように依頼した。

所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
放射線の正しい知識の啓発	適切な知識の啓発によるバランスの取れた放射線との付き合い方	放射線業務教育訓練によるRIの安全な取り扱い方法や核種毎の正しい知識を周知する。	3.9	コロナ対応のため教育訓練時に実習が実施できなかったが、新規の利用者が管理区域で初めて実験する際に正しいRIの知識で実験できるようにできるだけ配慮した。
RI実験排水の管理	RI廃液は一次洗浄水迄を無機廃液とし、その後の排水は貯留槽内で減衰をさせ、排水基準をしっかりと守る。	放射線業務従事者への周知及び貯留槽内で水による希釈をせず減衰を待つ。	6.3 12.2	希釈せず法令基準値以下にして放流した。

次年度の課題	所属長の総括
共通項目に関しては、次年度も今年度と同じく目標達成のためにしっかり取り組みたい。所管業務等項目に関してもコロナ対応に配慮しつつ、目標達成に向け取り組みたい。	各項目について概ね具体的に取組めたと考えている。次年度も同じように目標を達成できるように環境対策に取り組むたい。

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名				所属長印
医学部					
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)	
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	文献の印刷を控える。	12	平成30年度のコピー紙購入費に比べ、令和元年度、令和2年度の購入費はそれぞれ約50%である。目標を大きく超えてコピー用紙を削減している。	
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	実験に使用する試薬・消耗品を最小限にする。	12	必要な最小限の実験を行うように努めた。	
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入法適合商品の購入を推進する。	12	グリーン購入法適合商品の購入を推進した。	
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	テレワークを推進する。	7 12	教室員の数名は毎日必ずテレワークした。	
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)	
講義	配布資料の電子媒体化 50%	講義資料の紙媒体ではなく電子媒体にて配布する。		令和2年度は講義資料は全て電子媒体で配布した。講義54コマ、18日分の紙媒体を節約したことになるので、年度目標の電子媒体化50%を上回った。試験は例年のように印刷した問題用紙、回答用紙を用いた。	
次年度の課題			所属長の総括		
今年度は年度目標を大きく超えた点があった。次年度も引き続きコピー用紙の削減、廃棄物の減量化、グリーン購入の促進、省エネへの取組み、配布資料の電子媒体化に勤めていきたい。			目標を超える取組み結果を出しており、高く評価できる。次年度も同様に継続するように期待する。		

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名		所属長印	
法医学				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	印刷物について両面印刷や印刷された用紙の裏面を利用する。教室内の連絡事項はTeamsの機能を利用してペーパーレス化を図る。	12.5	印刷物は両面印刷または裏紙を使用し、教室内連絡事項はほぼ全てTeamsで情報共有した。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミの分別化の徹底。 不要になったファイルなどの再利用。	12.5	ゴミの種類によってゴミ箱を分け、分別化を徹底した。不要になったファイルも再利用した。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	教室で購入する物品についてグリーン購入が可能なものか確認する。	12.5	グリーン商品があるか確認し、購入した。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	パソコンなど一時中断する場合、省エネ機能を活用する。 使用していない実験機器などの電源は落とす。	7.3 12.2	席を離れる際、パソコンをスリープモードにするなど省エネ機能を活用した。常時稼働の必要な機器以外は未使用時、電源を落とした。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
法医解剖に使用する消耗品の削減	解剖に従事するスタッフを最小限にすることで使用する消耗品の量を減らす。	法医解剖に参加するスタッフを当番制にすることで使用するマスクやガウンなどの消耗品を節約する。	12.5	解剖に従事するスタッフを当番制にし、消耗品の消費を減らした。
次年度の課題			所属長の総括	
今年度行った取組みを継続し、次年度も環境管理を徹底していく。			各教室員が徹底したことで今年度の取組みはいずれも達成できた。来年度も引き続き、省エネ、節約を徹底していきたい。	



令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名				所属長印
生命医科学創薬再生科学					
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)	
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	原則、両面印刷にする 会議や打ち合わせでは、印刷物を減らしパソコンやプロジェクターを使う	12	概ね達成できた	
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミ分別を徹底する ゴミの資源化、古紙類、ミックスペーパーの分別	12	かなり徹底できた	
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入用品でグリーン購入できるものを調べ、代替え可能であれば切り替える	12	具体的に購入切り替えには、不十分だった	
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	エレベーターの利用を自粛 エアコンの設定温度をこまめに調整する	7 12	概ね達成できた	
所管業務等項目	2020年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)	
	ディスプレイの物品の見直し	実験消耗品(ディスプレイのチューブ、シリンジ)の再利用	12	概ね達成できた	
次年度の課題			所属長の総括		
グリーン商品を積極的に購入する			概ね達成できている。各人の意識も高まってきた。		

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名	所属長印
先端医学研究センター プロテオーム解析センター		

共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	・原則両面印刷 ・回覧はEメールで転送 ・文献の閲覧は電子化	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	コピー用紙は必要最低限の使用心がけた。文献閲覧はネット閲覧を徹底した。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	・ゴミ分別の徹底(ミックスペーパーの分別を徹底) ・備品の再利用	15.2 2030年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。	ミックスペーパーの分別を徹底したため燃やすゴミの減量化を達成。備品は作動不良時は廃棄にせず修理により再利用した。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・カタログはHPを参照、見積はEメールで確認 ・グリーン商品である事を確認してから購入	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	商品の見積、発注はすべてEメールにて行った。購入する前に必要性を十分に考え、長期間の使用を考慮した上で製品を購入した。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	・パソコン、コピー機の待機時省電力機能の設定 ・使用していない部屋のこまめな消灯 ・エレベーター利用の自粛 ・節水のため垂れ流しの防止	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。	パソコン、コピー機の待機時省電力、こまめな消灯、エレベーター利用自粛を徹底した。器具洗い時の節水も実行できた。

所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
試薬、消耗品の把握	試薬棚、冷蔵庫内の試薬をチェック	・試薬、消耗品の発注は共通のデータベースを使用し重複を防ぐ ・試薬は共用する	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	試薬購入時は必ず在庫の確認を行い、重複を防いだ。また購入希望リストを部署内全員で共用した事により、無駄な購入をしなかった。
部署内での情報共有	連絡事項は100%ネット	・連絡事項は書面ではなくPCチャット機能を利用	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	部署内の連絡はPCチャット機能、Eメールを使用した。

次年度の課題	所属長の総括
<p>廃棄物の減量化を目指しゴミの分別をさらに徹底する。特にペーパー類は細分化されているのでさらなる見直しが必要だと思われる。また試薬、消耗品はグリーン購入を心がける。連絡事項は引き続きPCチャット、Eメールを利用しペーパーレスを目指す。また「SDGs: 3.3 2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。」の目標に対して在宅勤務、時差出勤、WEB会議などで感染症に対するリスクを減らす。</p>	<p>今年度は感染症対策として、接触の機会を低減するために、PCチャット機能を導入したことにより、部署内での情報の共有や廃棄物の削減が進んだ。来年度も、引き続き様々な面で環境対策に取り組みたい。</p>

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名	所属長印
集中治療部		

共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	令和元年度に対し1%の削減	2アップ印刷の促進 部署内での連絡事項の共有は原則電子化	12	電子メール・SNSを使用し、部署内の連絡はペーパーレスをほぼ達成できた。 2アップ印刷は普及しなかったが、書類の電子化によりプリントアウト数自体が減少している。
廃棄物の減量	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院75% 資源化率 福浦C65%	ゴミ分別の徹底化 ゴミ箱表示をより分かりやすくする	12	医師控え室・カンファレンス室内の可燃物とプラのゴミ箱をそれぞれ増やし、分別を行いやすいようにした。
省エネへの取組み	令和元年度実績値をベースに 3年間で3%削減	医師控え室・当直室不在時の消灯・冷暖房のoff 画像評価システム、遠隔ICU用機器の非使用時の省エネ設定 入室していないベッド周辺の消灯	7	概ね達成できているが、一部スタッフへの啓蒙が不十分で徹底されていない。

所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)

次年度の課題	所属長の総括
<ul style="list-style-type: none"> <li>電子メールを使用して上記目標を部署内で共有し、省エネに対するスタッフへの啓蒙を促す</li> <li>今年度に引き続き、不在時の消灯、冷暖房のoff、機器の省エネ設定を推進する</li> </ul>	資源の適切な仕様について目標設定に合わせて遂行できていた。 来年度も引き続き部署一丸となって尽力していきたい。

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名		所属長印	
薬剤部				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	職員への周知、回覧事項は原則としてメールを使用する。	12	薬剤部内の周知事項、他部署からの通知文等は原則としてメール配信を行い、従来、職員へ配布していた用紙の削減を行った。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	医薬品の個装箱を圧縮して廃棄するように努める。 入院調剤時に使用するビニール袋の削減に努める。	12	業務連絡会で薬剤部内に周知し削減に努めた。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品の購入を優先的に行う。	12	業務連絡会で薬剤部内に周知。優先購入を呼びかけた。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	当直時、不要な照明の消灯とPCシャットダウンを徹底する。 保冷库購入時に省エネタイプを選択する。	7,12	今年度、保冷库の購入は認められなかったが、当直時の不要な照明の消灯とPCシャットダウンは概ね行っていた。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
薬剤部		製剤室で製剤品を調製する際に発生する排液の適正な管理。 製剤マニュアルと調製記録表に排液の処理に関する項目を追加する。	6	製剤マニュアルと調製記録表に排液の処理に関する項目を追加したことで、より適切な管理が行えた。
次年度の課題			所属長の総括	
今年度は概ね取組みを行うことができたが、薬剤部内の環境対策に対する認知度が低かった傾向があり、次年度は環境対策の取組みに対して、より積極的に呼びかけを行い、意識向上に努めていきたい。			環境対策改善には、日常の積み重ねが重要であることを薬剤部内で周知する必要があります。次年度は薬剤部内の会議等を利用して年度計画や進捗状況を共有する取組みを進めて頂きたいと思います。	

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名		所属長印	
臨床検査部				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	ISO15189に関連した書類の保存に関して紙ではなくPDF形式での保存に切り替える	12.5	ISO15189関連文書のPDF化は進んだが、完全な切り替えはできていない。個人情報漏洩防止対策で裏紙を使用できなくなったため使用量は増加した。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	検査試薬からでる紙類は資源ごみとして分別する。	12.5	紙ごみを資源ごみとして分別できた。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入商品でグリーン購入できるものを調べ、代替え可能であれば、切り替える。		検討したが対象品がなかった。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	使用していないパソコンは電源を切る。 当直時は使用していない場所の電気を消す。 水の使用に注意する	7.3 7.3 6.4	職員への周知をして、定期的に見回りを行った。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
職員教育	職員のレベルアップ	職員に資格取得、学位取得を促し、継続的に学習させる。	4.4	職員への啓蒙活動を継続して実施している。オンラインで学習できる機会も増えたため継続する。
次年度の課題			所属長の総括	
紙の使用を減らすために、ISO15189関連業務をシステム化できるようにする。 使用していない電気、パソコンの電源を切り、職員に環境対策の自覚を促す。			環境対策には職員一人一人が自覚を持つことが必要であるため、定期的に職場を巡回して是正、共有していく必要がある。 必要なものまで削減してはいけないが無駄は省く。	

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名		所属長印	
病理部				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	原則両面印刷 2アップ(2枚分を1枚にコピー)	12 12	概ね達成できた
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミ分別の徹底 ゴミ分別の徹底(特に古紙類のミックスペーパーの分別を徹底)	12 12	概ね達成できた
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログ又は見積先に確認を行う。	12	概ね達成できた
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	昼休みや離席時のこまめな電源OFF パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定	7 7	昼休みみんなで一斉に休めないのあまり電源OFFもできず達成できなかった
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
次年度の課題			所属長(環境活動責任者)の総括	
省エネはあまり達成できなかったので引き続き次年度の課題としたい			環境対策の取組は概ね達成できたので引き続き維持したい	

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名	所属長印 
放射線部		

共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	部内のメモ用紙等について裏紙を使用する 両面印刷の活用	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	COVID関連のため裏紙の利用は控え、資料など両面印刷に重きを置き取り組んだ。また、毎週実施している会議報告などを共有フィルダに保存やモニターによる報告を行う事により印刷物の使用頻度を低減させた。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミ分別の徹底(特に古紙類のミックスペーパーの分別を徹底)	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	部内全体会議にて周知を行った。また、分別用ごみ箱を整備し、環境を整備した。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログ又は見積先に確認を行う グリーン購入について部内職員へ周知する	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	機器の更新等において、積極的にグリーン購入を働きかけ導入を促した。ただし、同等品の手配が難しく購入には繋がらなかった。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	使用していない部屋、トイレや廊下のこまめな消灯、昼休み中の消灯 昼休みや離席時のこまめな電源OFF	12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。	部内全体会議にて積極的に消灯を行うなど省エネへ取組みについて周知を行った。

所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
紙の削減	CT・MRの外来会計カード廃止	CT・MRの外来会計カードの廃止(A4用紙 約150枚/1日 削減見込み)	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	外来会計カードの廃止について検討したが、廃止に伴う業務負担が関連部署で多く生じるため、現在のシステムでは廃止は困難と判断し、次期システム導入時に再検討することとした。
グリーン購入の促進	装置更新などでグリーン商品の購入	33番装置更新時にグリーン商品も検討し、積極的に購入する	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する	機器の更新等において、積極的にグリーン購入を働きかけ導入を促した。ただし、同等品の手配が難しく購入には繋がらなかった。

次年度の課題	所属長の総括
コロナ感染症の対策として、検査時に使用していた裏紙の使用などを中止した為、紙の使用量は増加した。そのため、ごみの分別などについて整備を行い減量化に努めた。次年度も引き続き、紙使用量の増加やグリーン購入の促進が課題である。	今年度は、新型コロナウイルス感染症の対応に追われ、急な物品購入や計画していなかった医療機器購入などが多くあり、紙の削減やグリーン購入に置いて思うような成果が上げられませんでした。しかし、4月から勤怠管理システムの本格稼働も決まり、これまで紙で運用していた超勤、休暇等の申請用紙も廃止を見込んでいるため、次年度の環境管理対策の取組に期待します。

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名		所属長印	
リハビリテーション部				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	・原則両面印刷 ・コピー裏用紙再使用の推進 ・スキャナーで読み取った電子ファイルを一斉送信して回覧 ・会議や打合せなどでのパソコンプロジェクターの使用	12.5	両面印刷の励行、印刷掲示およびコピー配布物は廃止し、電子化、ポータルメールおよびYCUメールにて情報配信・共有が行えた。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	・ゴミ分別の徹底(特に古紙類のミックスペーパーの分別を徹底) ・不要備品の再利用	12.5	
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・環境管理研修にて職員へ啓発する。 ・カタログ又は見積先に確認を行う。 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼	12.5	研修の周知を行い、部内半数以上が実施済み、閉講まで啓発を継続。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	・冷暖房温度の適正化 ・ブラインドの使用 ・空気搅拌機(扇風機)の併用	7.3	温度調節可能な部屋は適正に調節が行っていた。 空気搅拌機は適所に配置済み。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
会議の見直し	カンファレンス・ミーティング時間の5分短縮し、ペーパーレス	部内での周知徹底 必要な情報共有は電子化	7.3 12.5	カンファレンス・打合せ時間の短縮は達成できなかった。 情報伝達としてYCUメールを利用し、ペーパーレス化の一助となった。
課内での情報の共有	配布資料の電子化	情報種類と重要度を分類 分類に応じた情報発信・配信方法検討	12.5	明確な分類は行っていないが、重要度の高いものは電子化・メール配信を行っていた。
次年度の課題			所属長の総括	
コピー用紙の使用量の把握と削減の徹底			可能な限り実践できたとします。 可能であれば臨床業務以外の超過勤務時間の短縮を目指したい。	



令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名	所属長印
医事課		

共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	ペーパーレスでの資料共有 印刷が必要なものは、資料の2アップ、両面印刷を行う。	ターゲット12.5	コロナ禍ということもあり、委員会や会議WEB会議になり、結果的にペーパーレスで実施することが多くなった。ただし、参集する場合でもどうしても紙でないと見にくいものがあるなど一部で紙が残っており、その際は両面印刷を徹底した。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	分別の徹底、ミックスペーパーの回収 共通項目に同じく、ペーパーレスによる用紙の廃棄を削減	ターゲット12.5 ターゲット15.2	具体的な取組みについて、実施した
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログ又は見積もり先に確認を行い、グリーン商品の購入を励行する	ターゲット12.5	具体的な取組みについて、実施した
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	モニターや複合機など電機製品のコマメな電源オフ。 待機時省電力モードの設定。 階段利用の促進(2Up、3Down)	ターゲット7.3 ターゲット12.2	具体的な取組みについて、実施した

所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
打ち合わせ等資料の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	ペーパーレスでの資料共有(特に打ち合わせ後すぐに廃棄してしまうような)	ターゲット12.5 ターゲット15.2	コロナ禍ということもあり、委員会や会議WEB会議になり、結果的にペーパーレスで実施することが多くなった。ただし、参集する場合でもどうしても紙でないと見にくいものがあるなど一部で紙が残っており、その際は両面印刷を徹底した。
勤務時間削減	週に1度の定時退勤日の設定	超過勤務の時間削減を実行するとともに、省エネの取組みを意識する	ターゲット7.3 ターゲット12.2	出勤時間の抑制や効率的な業務遂行は各担当で実施した。 省エネでは、複合機を省エネモードにするなど各自が心がけてきている。離席する際にモニターの電源を切るなどは、細かなところは引き続き声がけしていく。

次年度の課題	所属長の総括
WEB会議でのペーパーレスは実施できているが、参集形式でのペーパーレスには限界がある。各自端末を持ってこようように案内しても持ってこない職員がいるため、結局は紙で準備する必要ある。(そもそも個人用PCの使用を不可としているので限界がある) 委員会や会議に参加する職員や部署には、職員1名(担当あたり1台ずつでも良いかも)に1台タブレットを配付するなど、病院全体でのペーパーレスの取組みが必要だと思われる。	参集形式の会議であれば、各会議室に設置されている大型モニターを使用し、積極的にペーパーレス化(コピー用紙削減)に取り組んでいく。 決定事項(議事録)をその場でWord等に入力し、会議内で情報共有することが出来るため、正確かつ効率的な運用が実施できる。

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名	所属長印
医学教育推進課		

共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	・ZOOM会議における紙資料の削減(PDF資料での対応) ・2アップ(2枚分を1枚にコピー)	12.5	紙数についてはできるだけ限りの削減を進め、特に医学部教授会に関しては、原則、PDFでの配布することにより、紙消費の減少に貢献した。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	・ゴミ分別の徹底	12.5	ゴミ分別については、わかりやすく分別を表示するなど対応し、ゴミ分別を周知・徹底した。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・カタログ又は見積先に確認を行う。	12.5	カタログ等を確認し、対象商品が無いもの以外は極力グリーン購入で対応した。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	・テレワークの実施を含む業務の効率化にて超過勤務業務の短縮化	7.3 12.2	テレワーク等の導入、実施により電力消費量の省エネ、減少に寄与している。







所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
紙文書の整理	文書廃棄日に合わせて、紙文書をスキャンし整理	・保存を電子化し、紙での管理を減らすことにより、紙使用の頻度を減らす。	12.5	紙数についてはできるだけ限りの削減を進め、特に医学部教授会に関しては、原則、PDFでの配布することにより、紙消費の減少に貢献した。

次年度の課題	所属長の総括
通信環境が整っていないため、データの電子化によるタブレットを利用した会議等はまだまだ進んでいない。打合せ等には活用するなど、電子化を進めたい。また、ZOOM等の遠隔システムを利用した会議やメール審議を実施することで紙の印刷を減らし、対面実施が必須でない会議については引き続き遠隔での開催を実行していく。	定例毎月(8月のみ休会)開催している医学部教授会の配布紙資料を原則、PDFによる配信としたことは、コピー用紙の削減に寄与することとなった。また、本年度はコロナウイルス感染症対策の一環としてZOOMによる各種会議の遠隔開催が定着したが、紙資源の削減など従来の集合同議に対する有効性を検討のうえ実施していく。

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名			所属長印
総務課				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	ペーパーレスの推進(会議等はプロジェクター使用、オンライン会議により資料を印刷せずに開催する) 印刷物は状況に合わせて2アップ、4アップ、両面印刷とする。	15.2 	令和2年度は環境管理委員会、臨床部長会等多くの会議をオンライン会議で開催することで、資料を紙からデータ配布に切り替え、大幅にコピー用紙の削減がなされた。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	ゴミ分別の徹底(SDGsに関する研修の実施で分別意識を向上させる)	12.5 	SDGsに関する研修を実施し、ゴミ分別の意識を全体的に高めた。また、廃棄物の担当職員が廃棄物処理工場での処理工程とリサイクルの現状について学び、院内にごみ処理から学ぶごみ分別の研修を次年度に実施することを企画した。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積先に確認を行う	12.5 	購入を「検討したが、グリーン購入の対象品がない等の理由でグリーン商品ではないもの購入することがあり、目標達成には至らなかった。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	不要な空調、照明を切る。 極力階段を使用する。(2up、3downは階段) OA機器の省エネ設定を細かく設定する。	7.3 	スイッチに「こまめに消灯」「退室時OFF」などのシールを貼り、不要な時間はスイッチを切るようにした。 部署内のパソコンやプリンターに省エネ設定をするよう啓蒙した。 エレベータに「荷物が無い時は極力階段を使用しましょう」の表示をした。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み		評価(振り返り)
夏のピークカットの取組み	契約電力5300kWを超えない	電力デマンドを監視し、熱源機や空調機の出力や運転台数をコントロールする。電力使用量が逼迫するときは、各部署へ節電の要請を行う。 電力予報により、職員の節電への意識を高める。	7.3 	コロナウイルス対策として、窓を開けて換気する機会が多くなり、空調負荷が増大しており電力の抑制が限界に達したため、契約電力をオーバーする日もあった。
化学物質等管理点検の取組	年1回各研究室へ出向き化学物質等管理点検を行う	各研究室へ出向き、安全マニュアルの管理、化学物質の記録、毒物等の保管状況、高圧ガスの管理状況、実験排水及び廃液の保管状況、リスクアセスメントの適切な指導を行う。	6.3 	抜き打ちで8教室の研究室に対し化学物質管理点検を実施し、管理・保管状況の確認、指導を実施した。
次年度の課題			所属長の総括	

令和2年度 環境管理システム 環境対策取組計画書

部門名	環境活動責任者名			所属長印
医学・病院企画課 物品管理担当				
共通項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
コピー用紙の削減	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	複合機のコピーカード運用での無駄なコピー用紙の管理 コピー原則両面印刷の徹底 資料内容によって2アップ印刷の実施		各担当に配布したコピーカードを使用してコピー用紙の管理を行うことができた。 印刷の際各自の判断で両面印刷の徹底、さらには2アップ～8アップまで印刷ができた。
廃棄物の減量化	令和元年度に対し1%の削減 資源化率 附属病院80%以上 資源化率 福浦C65%以上	備品購入の前にリサイクル実施の周知 事務室に設置してあるごみ箱の分別表示ごとに廃棄する。		各部署からロッカーなどの日用品の購入依頼が届くと保管場所(5階)を案内しリサイクル品を使用するに促すことができた。
グリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入する備品ごとにグリーン購入適用品であることを確認する。		コピー用紙を中心に「グリーン購入用品」を選定した。また、対象の文房具の購入の際は見積を依頼書に「グリーン購入用品」を選定するなど意識を高めることができた。
省エネへの取組み	平成30年度実績値をベースに3年間で3%削減	退出時の空調、照明、プリンタ等の電源確認の実施 照明の間引き サーキュレーターによる室内の温度差の抑制	 	防火管理簿に添付したチェック表を確認し空調、照明、複合機の電源を切って退出することができた。
所管業務等項目	年度目標	具体的な取組み	SDGs(目標ターゲット)	評価(振り返り)
委託業務から廃棄されるダンボール、古紙等の適切な分別作業	ダンボール、古紙の回収量の増加	委託業者への周知徹底		備品等の購入の際、納品業者に梱包を解き納品するよう周知した。
次年度の課題			所属長の総括	
今年度は判断を各個人に任せてしまったことから統率ができなかった。来年度は周知文を作成し課内に配布し認識を高める必要がある。			環境対策は職員一人一人が意識して着実に取り組んでいくことが肝要です。本年度はすべての項目において進捗がみられ、成果を出すことができました。来年度も、更なる向上を目標に、積極的な取組を期待しています。	